



## 助け合いの心

### 菊陽町商工会青年部が災害支援ボランティアに参加

町商工会青年部が7月の土日・祝日に「令和2年7月豪雨」で深刻な被害を受けた、芦北町・小国町の災害支援ボランティアに参加しました。

各日約20人が参加し、民家などに侵入した土砂や災害ゴミの撤去、救援物資の運搬を行いました。

同部の中島隆之部長は「菊陽メンバーをはじめ、熊本中の青年部員が一丸となって復旧に取り組む姿は、まさに絆。今後も全員でサポートしていきます。」と話しました。



ボランティア活動の様子

## 7月豪雨の被災地へ支援

### 富士フィルム(株)が県へ義援金を贈呈

富士ゼロックス(株)と、本町に子会社を構える富士フィルム(株)が、7月20日、「令和2年7月豪雨」の被災地・被災者支援として、義援金1千万円と、避難所などでの感染症予防のための手指消毒用アルコールジェル千本を県に贈呈しました。

県庁で贈呈式が行われ、富士フィルム九州(株)の植松社長は、「今後も、グループ従業員に対して義援金募集を行うなど、富士フィルムグループ全体で被災地を支援したい」と話しました。



県庁で行われた贈呈式の様子

## 今、自分たちにできる支援を

### 地域女性の会が被災地に義援金などを贈呈

町地域女性の会が8月11日、町社会福祉協議会に「令和2年7月豪雨」の被災地・被災者支援として、義援金とトイレトーパー200個と洗濯用洗剤159個を預けました。預けられた義援金などは、8月12日に被災地へのボランティアバスで届けられました。地域女性の会会長の酒井恵さん(辛川)は「地域女性の会で何かできることはないか考えました。豪雨災害へ遭われた方のためになれば嬉しいです。」と話しました。



酒井会長と社会福祉協議会の服部事務局長

## 被災地の皆さんの力になりたい

### 菊陽西小学校の5年生が被災地に雑巾の寄付

菊陽西小学校の5年生が8月7日、「令和2年7月豪雨」の被災地のために手縫いで作った雑巾を町社会福祉協議会に預けました。5年生170人が心を込めて作った雑巾は479枚。預かった雑巾は8月12日の被災地へのボランティアバスの運行日に芦北町社会福祉協議会へ届けられました。三浦倫桜さん(三里木)は「被災地の人たちの力になると嬉しい。初めて手縫いで雑巾を作りました。これを使って、水害が起こる前の姿に戻してほしい。」と話しました。



作った雑巾とメッセージを持つ子どもたち



## 町公式アプリがより便利になりました ごみ収集日通知機能を追加

町公式アプリは町ホームページの情報を手軽に閲覧できるアプリです。今回の更新でごみ収集日の通知機能などを追加しました。これは、出しわすれがないようにごみの収集日をお知らせする機能です。ぜひご利用ください。

### ごみ収集日通知設定方法

- 1 メニューの分類選択の下にある「ごみ情報」を選択する。
- 2 画面右下の設定を選択する。
- 3 画面上の収集地区設定を選択する。
- 4 収集地区(収集地区A～D)を選択する。
- 5 5の設定画面に戻り、通知設定を選択する。
- 6 お好みの時間を選択する。

総合政策課 企画政策係 ☎(232)2112



iPhoneを使って  
いる人はこちら



Androidを使って  
いる人はこちら

※「本日の収集通知」は当日朝、「明日の収集通知」は前日の夜の通知です。

## 4年4カ月ぶりに全線開通

### JR豊肥本線の肥後大津～阿蘇間が運転を再開

豊肥本線全線開通に伴い特急「あそぼーい！」の出発式が8月8日、熊本駅で行われました。光の森駅、三里木駅、原水駅で夢街光の森会、三里木商工繁栄会、地域住民や園児、町職員などがお出迎えとお見送りをしました。

夢街光の森会 竹尾景利会長は「会としても、地域としても喜んでおり、町も活性化すると思う。コロナの影響で落ち込んでいる中、笑顔になれた。豊肥本線の全線開通に感謝したい。」と笑顔で話しました。



特急「あそぼーい！」と夢街光の森会の皆さん



三里木商工繁栄会の皆さん



園庭から特急「あそぼーい！」を見送る  
みどり園児たち



原水駅でも多くの住民や職員が見送った